第２回阿武隈川上流遊水地群内利活用検討会の振り返り

資料１－１

開催概要

■令和７年２月１９日（水）に第２回「阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会」を矢吹町複合施設KOKOTTOで開催いたしました。
■検討会では事務局から住民・企業意向調査及び作業部会での検討結果の報告後、利活用の方向性についてイメージを提示した上で、委員により今後の方向性を議論いたしました。

日時等

■**日時** ：令和７年２月１９日（水）１０：００～１２：００
■**場所** ：矢吹町複合施設KOKOTTO（KOKOTTOホール）

議事
（１）第1回検討会の振り返りと地内利活用検討の進め方の確認
（２）地内利活用の方向性を検討
・意向調査の実施結果の報告
・作業部会の検討結果について
・地内利活用の方向性の検討
（３）情報提供
・無人化除草機の実証実験について
・農地再整備に関する検討状況及び試験ほ場の整備について
（４）今後の予定について

開催状況



▲川越委員長挨拶


▲検討会の様子

出席者

■阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　構成員（敬称略、五十音順）

・**市岡綾子**（日本大学専任講師）　・**委員長 川越清樹**（福島大学教授）　・**矢口佳則**（隈研吾建築都市設計事務所）
・**若杉晃介**（農研機構上級研究員）・**木賊正男**（鏡石町長）　・**蛭田泰昭**（矢吹町長）　・**須釜泰一**（玉川村長）　・**鈴木幸則**（福島県農林水産部技監）
・**髙萩俊**（福島県土木部参事）　・**小貫薫**（福島県県中地方振興局長）　・**伊藤智樹**（福島県県南地方振興局長）・**望月貴文**（福島河川国道事務所長）

主な意見

- **作業部会等で議論してもらったのはいいが、ヒト・モノ・カネが無ければ実現できない。誰が出すのかということが重要。**
- **農地整備の費用について、どのくらいお金がかかるのかということ、その上で収益性が確保できるかが重要。金額を明確にしていく必要がある。**
- **農家は工事期間中は営農できないため、対策となる措置をどうしていくか課題。**
- **占用料については県に免除することを検討してほしい。「減」ではなく「免」の方向でお願いしたい。**
- **遊水地の利活用に意欲がある企業があることはありがたいが、事業が成立し、継続してもらえるかが心配。**
- **利活用が上手くいかず荒地となった場合、有害鳥獣の巣とならないように安心安全に暮らすために国で責任を持って管理してほしい。**
- **フロートソーラーについては、景観がどうなるかも確認が必要。また、整備後に継続されるようしっかりとした企業であることが望ましい。**
- **上流は下流のため、下流は上流のためにやっていかなければならない。**